

第13回大阪市市民活動推進審議会

日時 平成22年8月3日(火) 午前10時00分～正午

場所 大阪市公館 レセプションホール

出席委員(委員・五十音順)

新崎委員 有田委員 楠委員 坂委員 早瀬委員

三木委員 山内委員 矢田貝委員 山田委員

本市出席者

市民局長 市民活動担当課長 市民活動担当課長代理 市民活動担当係長

議題 (1)「市民活動推進拠点のあり方」検討にかかるワーキング部会からの報告について

(2)「(仮称)市民活動団体等と行政との協働の推進指針」策定にかかるワーキング部会からの進捗状況の報告について

(3)今後の進め方について

要旨 (1)「市民活動推進拠点のあり方」検討にかかるワーキング部会からの報告について

- ・ワーキング部会より「市民活動推進拠点のあり方の基本的な考え方(案)」の報告及び意見交換

《論点》

○施設の候補がないなかで、施設の規模を入れるのであれば、いくつかの施設の規模を想定して提言しないと、規模を特定したようにみえるのではないかと。

○今回示している施設の規模は、最低限のものとする。

○施設の運営を考えると、施設へのアクセスがよいことも重要である。

○いつの時点で提言として取りまとめるかによって、どのような内容が盛り込まれるかが決まってくるのではないかと。例えば、施設の候補が決まらなないと、施設へのアクセスや施設の規模が明確にならないため、具体内容を提言ができない。

○施設の候補がないなかでは、議論が難しく、施設の規模の想定に基づいて施設の選定を行うとなると、既存施設の規模に限りがある中で、選定は困難になるざるを得ない。むしろ施設の機能面について議論する必要があると考える。

(2)「(仮称)市民活動団体等と行政との協働の推進指針」策定にかかるワーキング部会からの進捗状況の報告について

- ・ワーキング部会より「(仮称)大阪市協働指針【実践編】骨子」の報告及び意見交換

《論点》

○職員によって構成される大阪市協働推進連絡会議の作業部会から具体的な協

- 働の事例をきき、実態の協働事業の枠組みに合ったものを作る予定。
- 協働事業の際、PDCAサイクルはどのようにまわるのかを図示した。
 - 振り返りシートを作ることで、お互いに評価できるという意見があった。

(3) 今後の進め方について

・事務局より今後の進め方について説明

○「市民活動推進拠点のあり方」検討にかかるスケジュール

10月 ワーキング部会での検討 市民活動推進拠点のあり方の基本的な考え方（提言案）とりまとめ

11月 市民活動推進拠点のあり方の基本的な考え方の提言

○「(仮称) 市民活動団体等と行政との協働の推進指針」策定にかかるスケジュール

9月 ワーキング部会での検討 「大阪市協働指針【実践編】」中間とりまとめ

10月 「大阪市協働指針【実践編】」中間とりまとめの提出

11月 職員の意見募集

12月 「大阪市協働指針【実践編】」素案の提出

1月 パブリックコメント

2月 「大阪市協働指針【実践編】」の答申

3月 「大阪市協働指針【実践編】」の公表